※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	１単位	年次	３年次前期
使用教科書	「探求 論理国語」　（桐原書店）						
副教材等	「常用漢字ダブルクリア」（尚文出版） 「共通テスト演習現代文」（いいずな書店） 「現代文速読トレーニング３　評論・実用文・小説」						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業で詳しく扱えなかった単元も定期テストに出題することがあります。
多様な文章を正確かつ概略的に把握するとともに、分析的な批評を加えることができること、授業内でのワークや問題演習を通して、自分の意見や感想を適確に表現できること、課題解決型の問題を含め、大学入試などで課せられる様々な問題に対応できることを目標に、反復と継続によって国語力を身につけましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を延ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	評論の読み方に習熟する。 ［教材］ 人間の領域 日高敏隆	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。 b[読]：内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：筆者の主張を理解し、わかりやすくまとめようとしている。また、参考資料と重ねて読むことでテーマについての理解を深め、自分自身が生きることの意味について考えている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 小テスト 振り返りシート
	「帰納」や「演繹」など評論特有の考え方に触れ、的確に理解する。 ［教材］ 身体と出現 平野啓一郎	a：効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c：本文の内容を踏まえて、私たちを取り巻くものと身体の関わりについて話し合い、自分の考えを深めようとしている。			
	言語論を踏まえて、日本語や日本文化の問題について考察する。 ［教材］ 言葉の〈意味〉と〈表徴〉 中村雄二郎	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、正しく活用している。 b[書]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して、内容を正しく解釈し、考察している。 c：本文の内容を踏まえて、筆者の主張についてどう思うか話し合い、自分の考えを深めようとしている。			
	「伝統」「国民性」に対する筆者の批判について、理解する。 ［教材］ 日本文化私観 坂口安吾	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 b[読]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して、内容を正しく解釈し、考察している。 c：本文内容を踏まえて、古い街並み保存と都市開発の優先について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。			

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　15　）時間

・読むこと　…　（　20　）時間